



ワレモコウ

(2006年9月3日 撮影)

いすみがたけ がつしょじゅん がつちゅうじゅん
泉ヶ岳では、8月初旬から9月中旬ごろまで、
そうげん なか すうほん ぐんせい
草原の中に数本ずつ、または群生しているのをよく
み
見かけることができます。

たか せんちめーとる めーとる ほそなが くき さき
高さは70 c m から1 m ほど。細長い茎の先
だえんけい はな ようす ぼう
に楕円形の花をつける様子は、マッチ棒のようです。

なまえ ゆらい せつ はな ちい めだ
名前の由来はいくつも説があり、花が小さく自立
たないために「私 も他の花と同じ紅色ですよ」と
わたし ほか はな おな べにいろ
主張する意味の「吾亦紅」から来たという説。花の
しゅちょう い み われまたこう き せつ はな
形が鳥の巣からデザインされた家紋「木瓜紋」に似
かたち とり す かもん もっこうもん に
ていて、つぼみが割れて花が咲くことから、「割れ
もっこう せつ
木瓜」とされたという説などがあります。



開花寸前のつぼみのアップ



木瓜紋